

科目名	高齢者福祉研究 [院]					単位	2.0
担当教員	室田 人志						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1, 2	授業番号	2682

●授業のテーマ

高齢者福祉の法制度、地域ケアシステムを理解する。

●到達目標

1. 戦後の高齢者福祉の政策的内容と実践現場の発展過程を理解することができる。
2. 21世紀の高齢者福祉を取り巻く政策、法制度、ケアシステムの動向を理解することができる。
3. 介護保険法等の実態と諸問題について明らかにすることができる。

●学習内容(授業概要)

戦後、我が国の高齢者福祉は、老人福祉法、老人保健法の制定、さらに介護保険法の制定を経て大きな発展を遂げてきた。21世紀に入って高齢者への支援のシステム化、実践の深まりは急激な変化をもたらしている。

とりわけ、要介護・要支援高齢者を対象とした高齢者ケアの法制度の整備、地域ケアのシステム化に反映されている。

本講では、高齢者に関わる法制度の理解、地域ケアシステムの形成過程、保健医療福祉や居住福祉、地域福祉の視点で高齢者福祉の全体像を概観する。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション
～本講義のねらいとすすめ方～
2. 戦後の高齢者福祉政策と動向①
～戦後から1950年代まで～
3. 戦後の高齢者福祉政策と動向②
～1960年代～
4. 戦後の高齢者福祉政策と動向③
～1970年代～
5. 戦後の高齢者福祉政策と動向④
～1980年代～
6. 戦後の高齢者福祉政策と動向⑤
～1990年代～
7. 戦後の高齢者福祉政策と動向⑥
～21世紀-1-～
8. 戦後の高齢者福祉政策と動向⑦
～21世紀-2-～
9. 中間まとめ
10. 21世紀の保健医療政策
11. 21世紀の介護政策
12. 高齢者の地域福祉施策と居住福祉の動向
13. 地域包括ケアシステムの動向
14. 高齢者福祉の諸課題
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

事前学習：高齢者福祉に関わる政策資料、法制度、実践動向等の資料を収集して講義の際に用意すること。

事後学習：毎回課題を提示するので、レポート等にまとめること。

●成績評価方法・基準

①授業時のミニレポートおよび期末試験(レポート等)により、高齢者福祉政策や実践動向に関わる歴史的発展過程を具体的に説明できることによって評価する。

②習得度は、授業時におけるミニレポート(40%)、学期末レポート(60%)により総合的に評価し、60点以上を合格とする。

●テキスト(必携)

高齢者に関わる福祉・保健・医療・介護等の政策資料を取り上げる。

その他、高齢者福祉に関わる先駆的実践動向を取り上げる。

●参考文献／その他

太田貞司編著「大都市の地域包括ケアシステム」光生館

太田貞司編集「医療制度改革と地域ケア」光生館

太田貞司「地域ケアシステム」有斐閣 2003

加藤仁「介護の質に挑む人びと」中央法規 2007

他多数あり、講義時に適時紹介する。

●履修上の注意

履修する院生は、資料作成から発表、討議とポジティブに取り組んでもらうことになる。